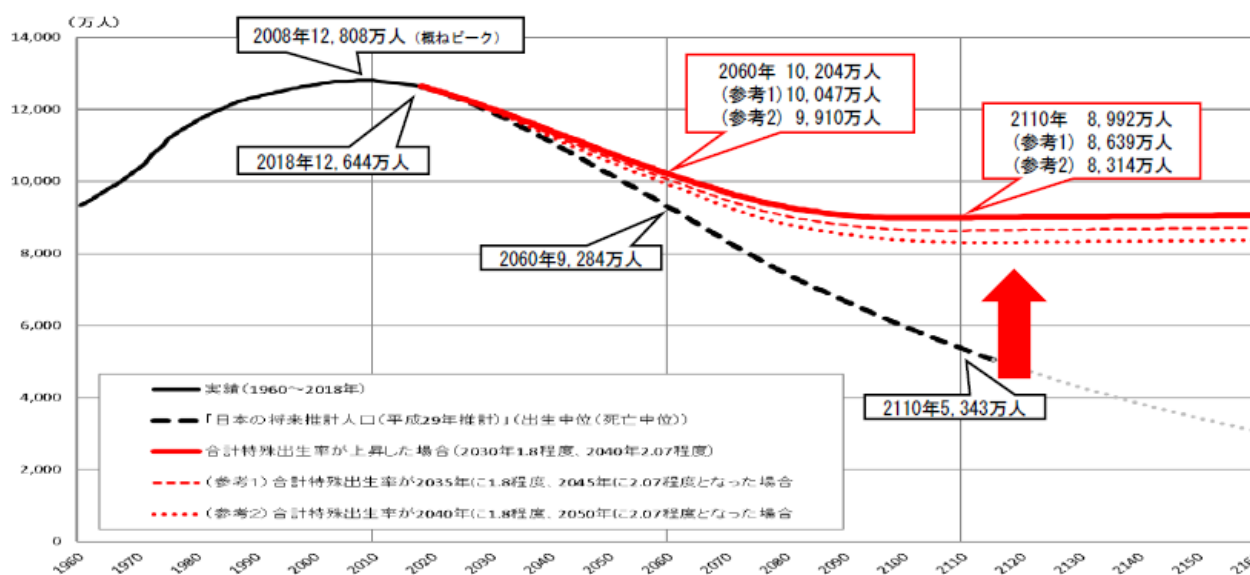


## 大栗市人口ビジョンの改定について（検討資料）

### 1 国の動向

#### (1) 国内人口の推移と長期的な見通し

- ・ 国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）「日本の将来推計人口（2017 年）」によると、2060 年には約 9,300 万人まで減少するとの見通し。
- ・ 合計特殊出生率が 2025 年に 1.6、2030 年に 1.8、2040 年に 2.07 程度まで上昇すると、2060 年の人口は約 1 億 200 万人になり、長期的には 9,000 万人程度で安定的に推移すると推計。



【図1：日本の人口の推移と長期的な見通し（暫定推計）】

#### (2) 国の第2期長期ビジョン策定内容

- ・ 第1期の当初時点の推計と大きく乖離していないことや、外国人の出入国状況の把握は困難なことから、**第2期長期ビジョンは時点修正のみ**とし、第1期から**大きな変更予定はない**。

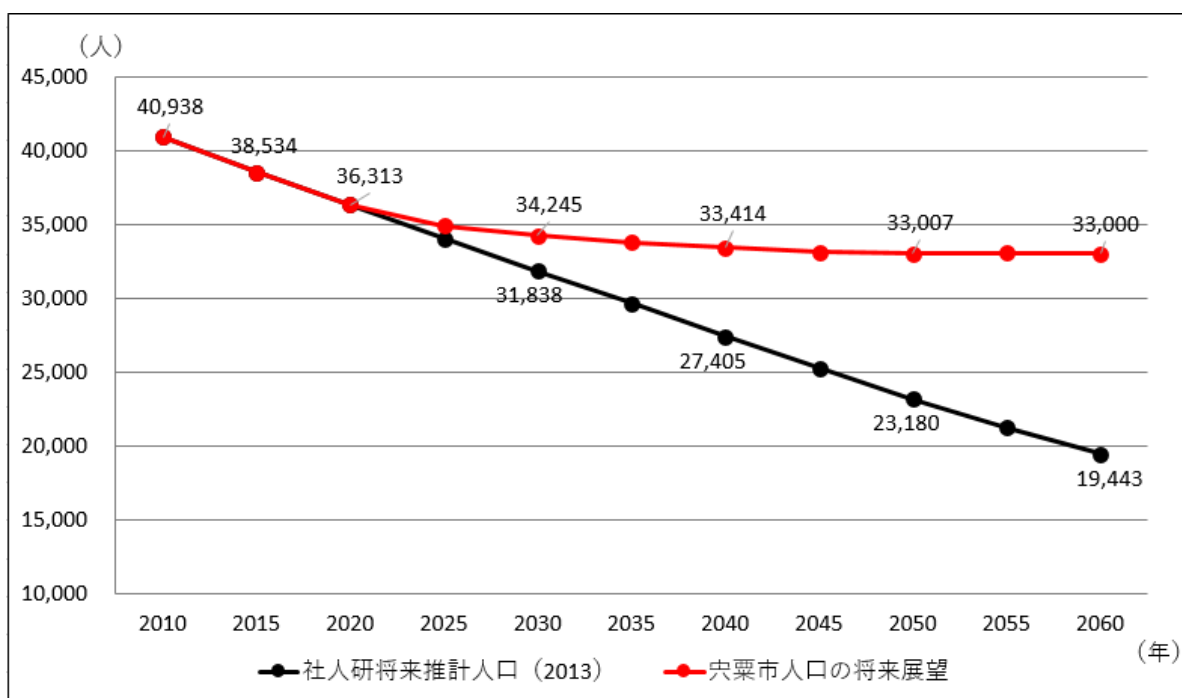
#### (3) 地方人口ビジョン策定に対して

- ・ 国の長期ビジョンを勘案することが望まれる。
- ・ 中長期的には人口の自然増が重要であるという観点を重視しつつ、最新の数値や状況の変化を踏まえた上で、**時点修正など必要な見直しを行うことが重要**。
- ・ 人口の社会増のみを追求した場合には、国全体の人口の増加につながらないことに留意。
- ・ 外国人人口の割合が多い（増加が見込まれる）場合は、外国人人口の影響についても留意。

## 2 宍粟市の現状

### (1) 人口の推移と長期的な見通し【現在の人口ビジョン】

- ・ 2010 年の国勢調査における人口は 40,938 人で、合併した 2005 年の 43,302 人から 5 年間で 2,364 人の減少。
- ・ 2013 年社人研の将来人口推計によると、2060 年には 1.9 万人まで減少するとの見通し。
- ・ 合計特殊出生率は国に比較して高く推移しており、2040 年には 2.3 程度まで上昇すると仮定。また、社会増減は 2025 年に均衡するものと仮定し、2060 年の目標人口を 3.3 万人に設定。
- ・ 3.3 万人の目標人口は、国の人口減少率よりも高い設定としている。



【図 2：宍粟市の将来人口推計（人口ビジョン）】

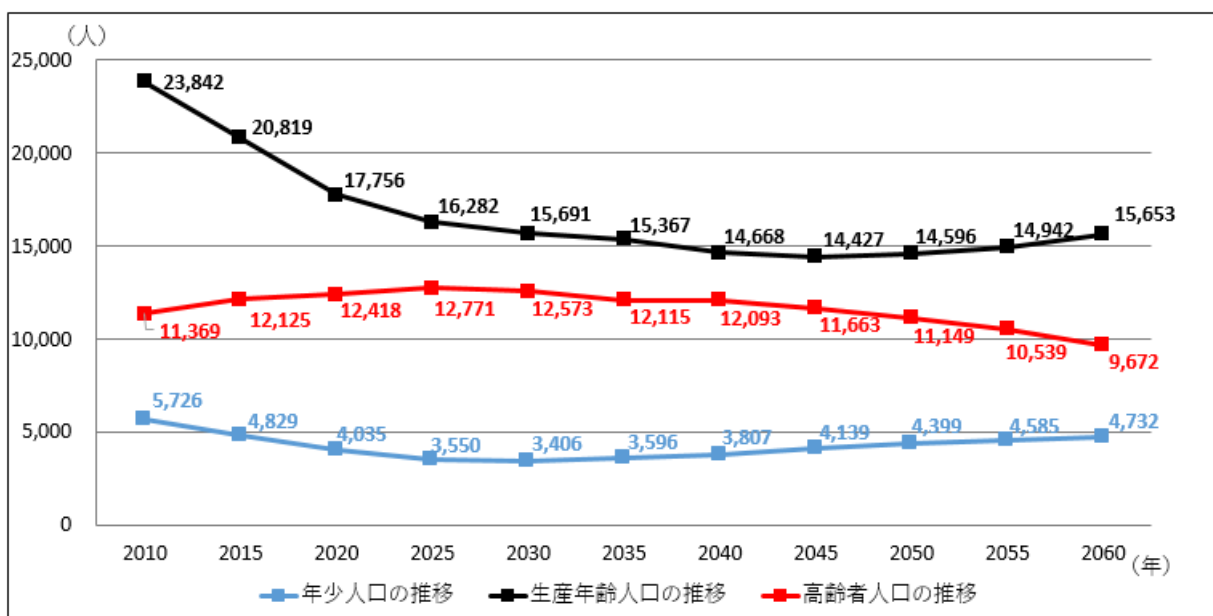
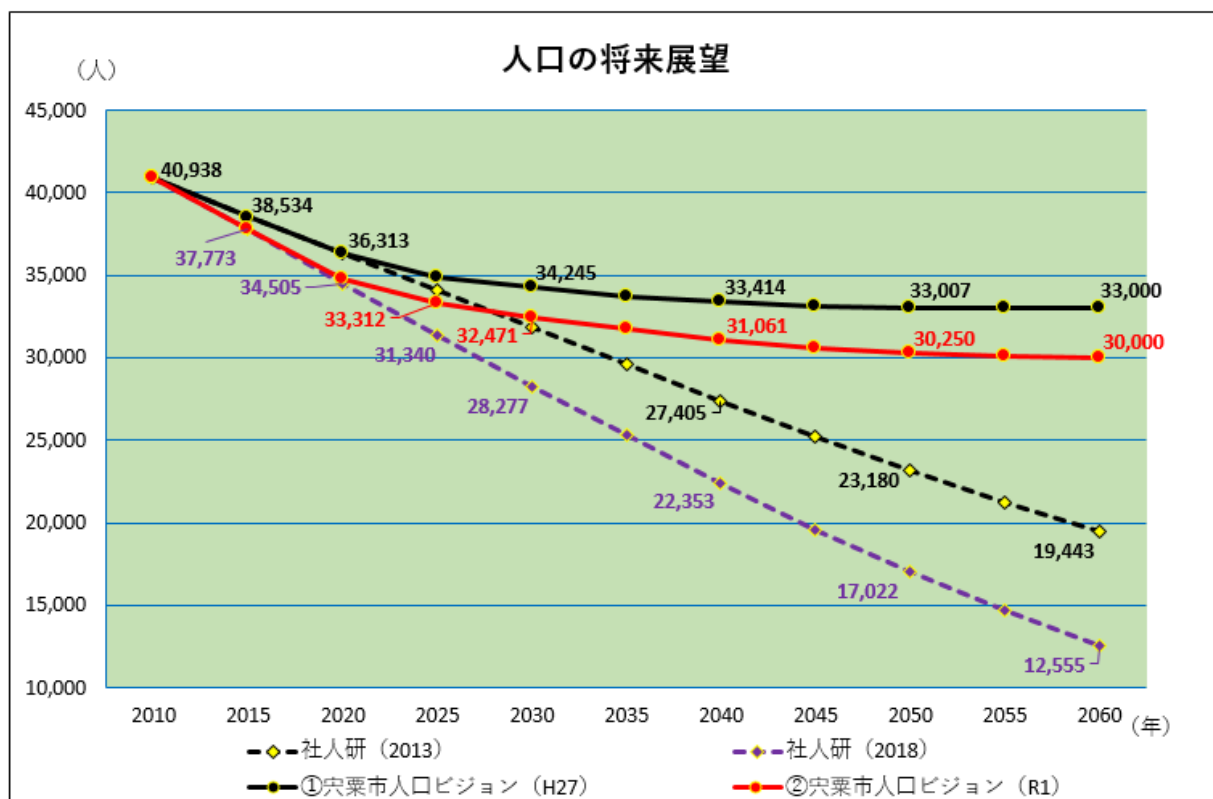
### (2) 人口ビジョン策定後の動き

- ・ 2015 年国勢調査における人口は 37,773 人で、2010 年国勢調査から 3,165 人の減少となり、人口ビジョンの 2015 年人口推計 38,534 人から 761 人少ない結果。
- ・ 合計特殊出生率は人口ビジョンの見通しと乖離がほとんどない結果。
- ・ 国勢調査の結果により将来人口推計を再計算すると、2060 年の人口は約 3 万人となる。
- ・ 2018 年社人研公表の将来人口推計によると、2060 年の人口は 1.2 万人として算出されており、前回より 0.7 万人少ない見通しが表示されている。
- ・ 2015 国勢調査の結果がこれまでの人口推移と比較して減少率が高かったことから、社人研の将来人口推計は、前回の推計から大きく下振れしている。

### 3 宍粟市人口ビジョンの改定

#### (1) 改定に向けた考え方と将来の人口目標

- ・ 将来人口の減少は市民生活に大きく影響（雇用・医療・空き家・公共交通・社会保障など）。
- ・ 令和7年度までの第2次宍粟市総合計画基本構想において、2060年時点での人口3.3万人をめざし、人口減少対策を最重要課題として各施策を展開している。
- ・ 将来的な地域活力の維持には、一定の人口規模を維持していくことが必要不可欠。
- ・ 時点修正として、2015年国勢調査の結果を人口ビジョンに反映。
- ・ 再計算した **3万人を人口ビジョンの新たな目標**として検討する。



【(上) 図3：人口の将来展望図（総人口）、(下) 図4：人口の将来展望（年齢3区分別）】

## (2) 社会増減と自然増減の目標

- 社会増減は現在の人口ビジョンの目標を継続しつつ、転入超過人数の目標を再計算。

2025 年を目途に社会増減が均衡

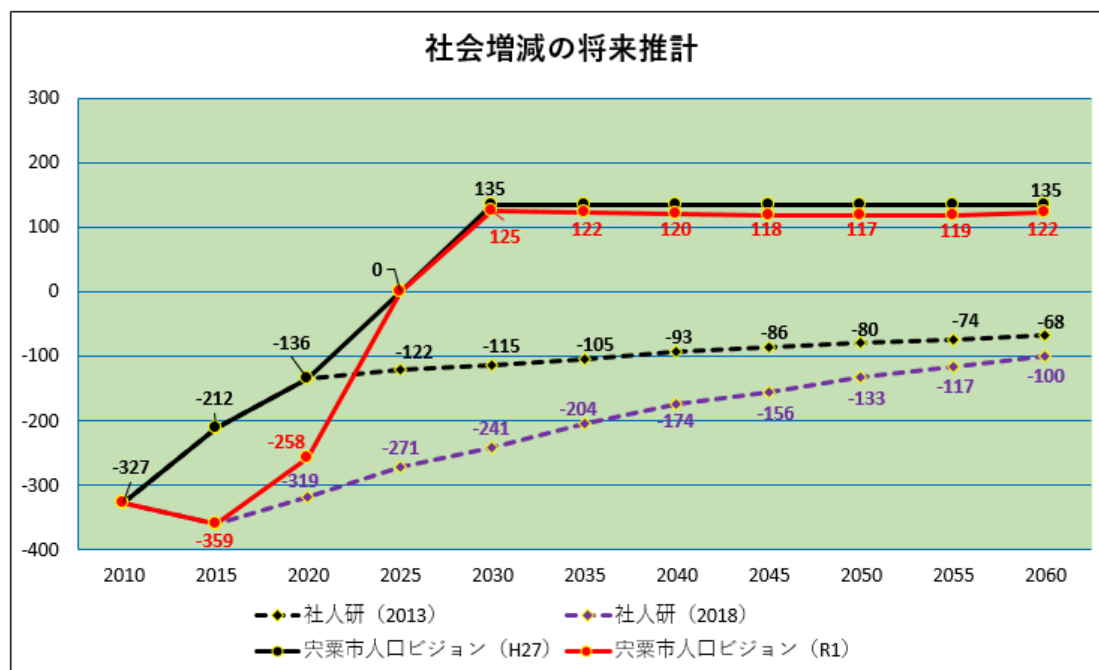
➡ 変更なし

2030 年以降は転入超過へ転換

➡ 変更なし

2030 年以降は毎年 135 人程度の転入超過

➡ 毎年 120 人程度の転入超過



【図 4：社会増減の将来推計】

- 自然増減は現在の人口ビジョンの目標を継続しつつ、出生数の目標を再計算。

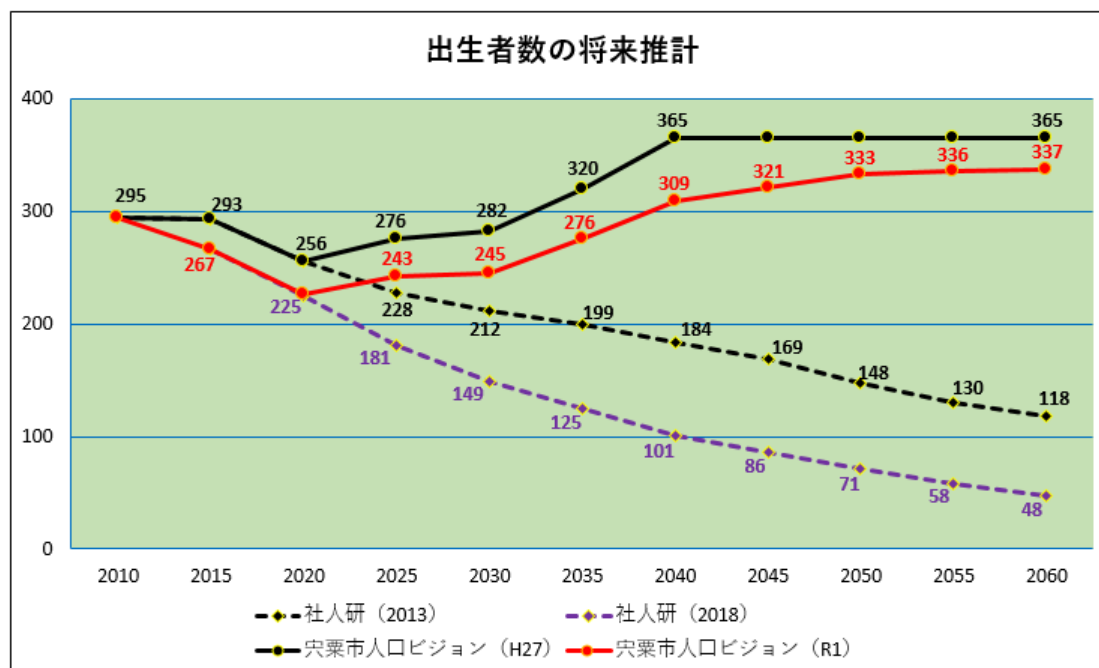
合計特殊出生率

➡ 変更なし

| 2025 年 | 2030 年 | 2035 年 | 2040 年以降 |
|--------|--------|--------|----------|
| 1.76   | 1.80   | 2.05   | 2.30     |

2040 年以降は毎年 365 人程度の出生数

➡ 毎年 300 人から 335 人程度の出生数

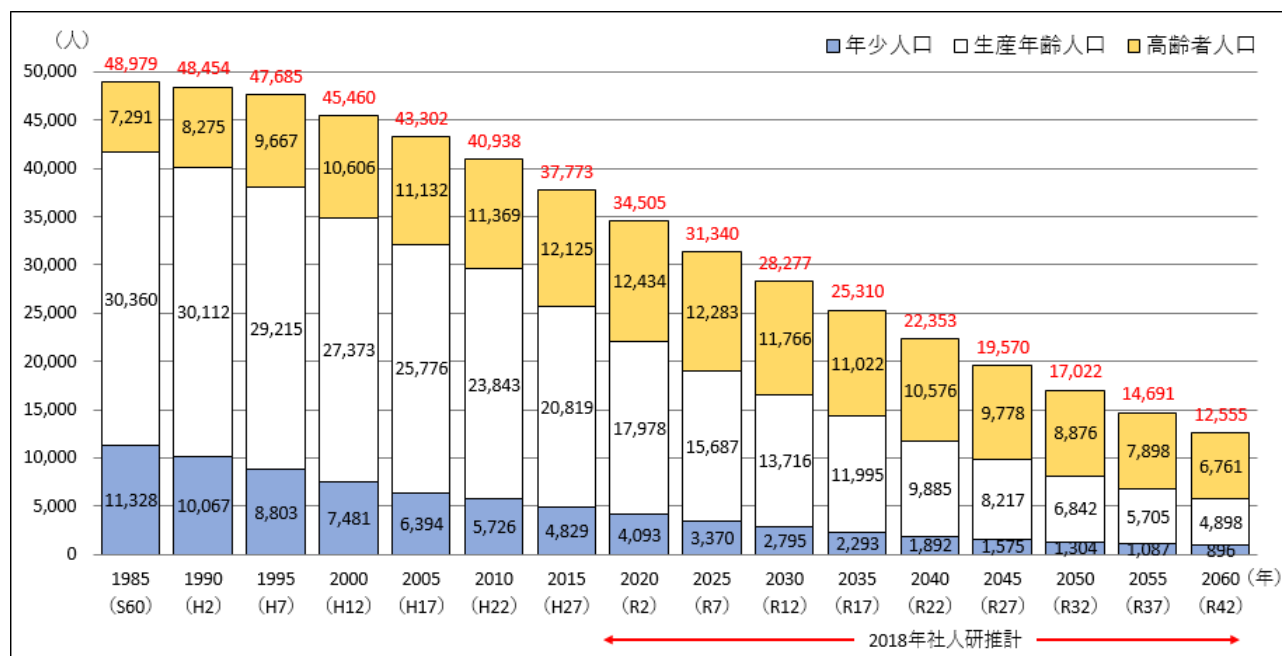


【図 5：出生数の将来推計】

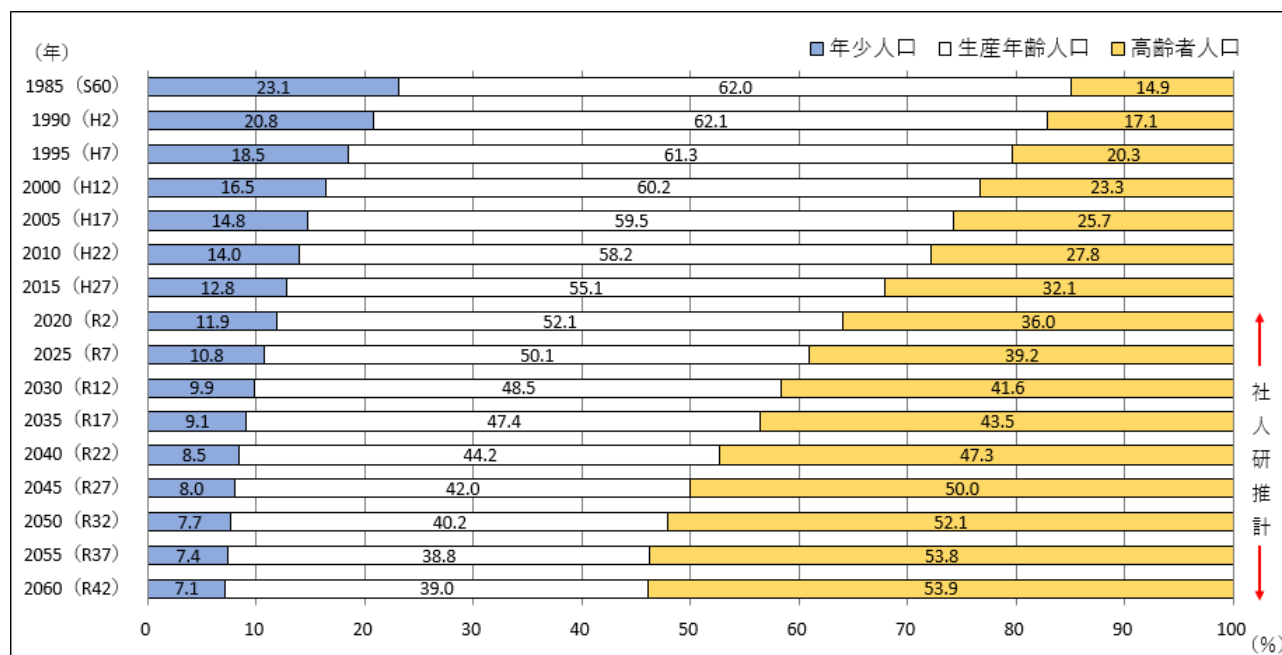
# 参 考 デ ー タ

## 1 国勢調査

(1) 総人口と年齢 3 区分別人口の推移 (2060 年までの推計含む)

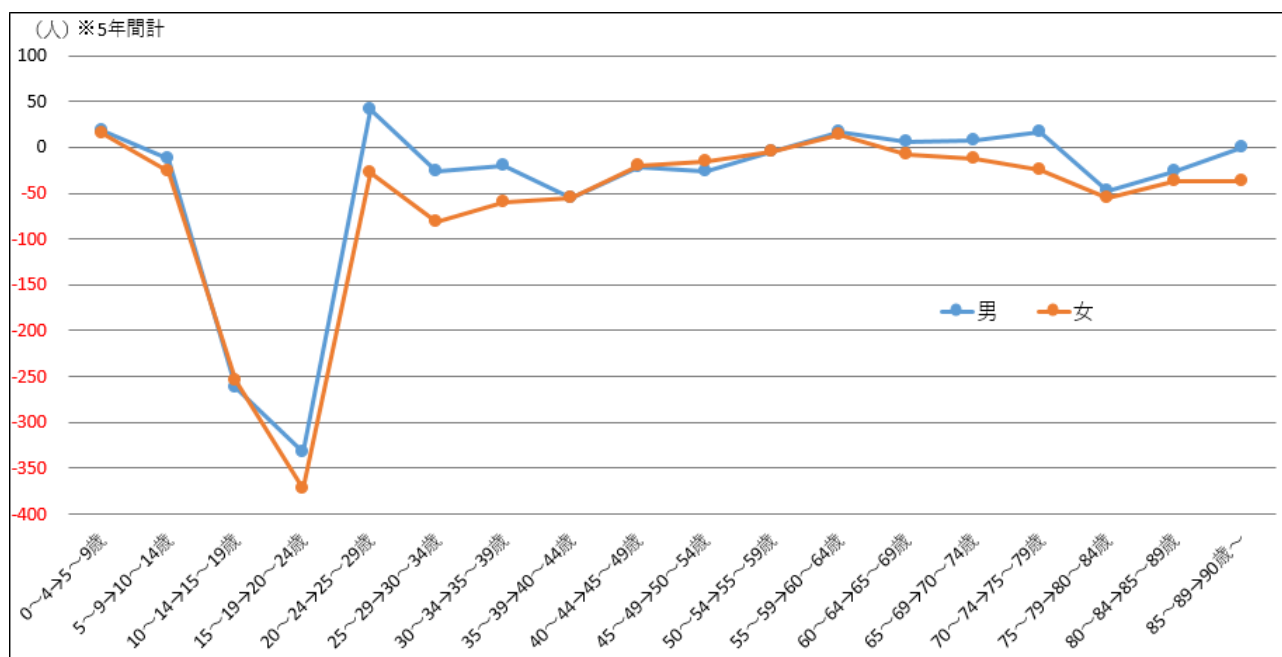


【図 1：総人口と年齢 3 区分別人口】



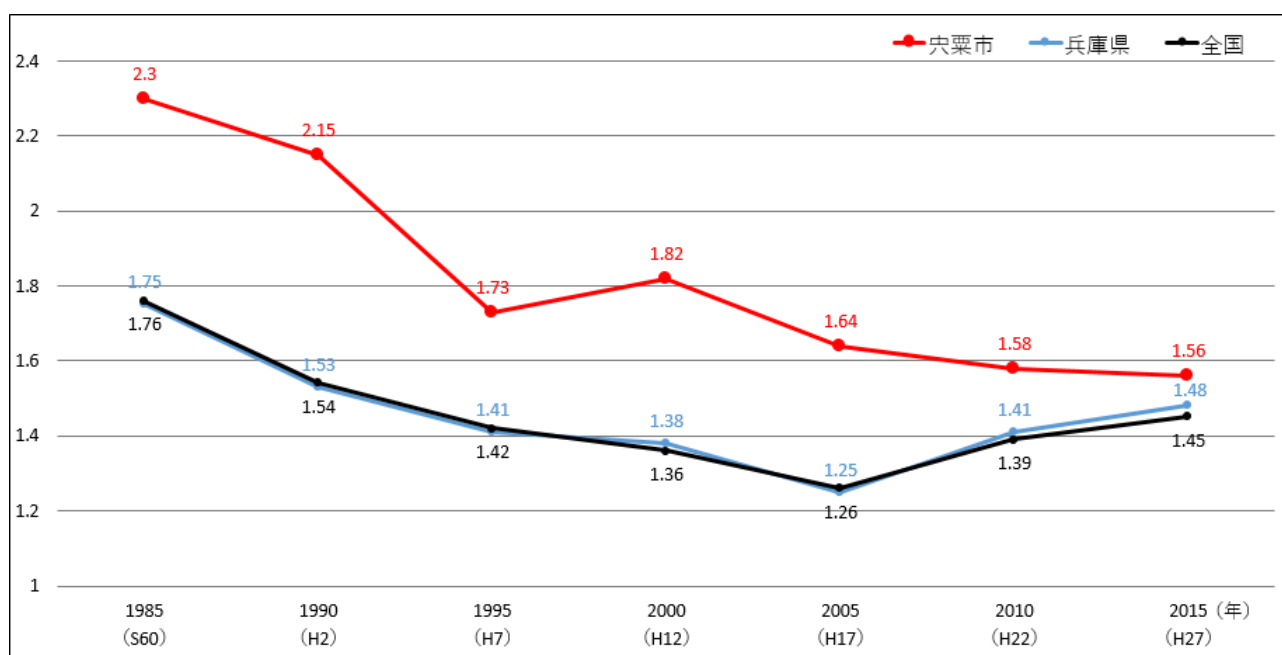
【図 2：年齢 3 区分別人口の総人口に占める割合】

## (2) 2010 年から 2015 年国勢調査の人口移動の状況



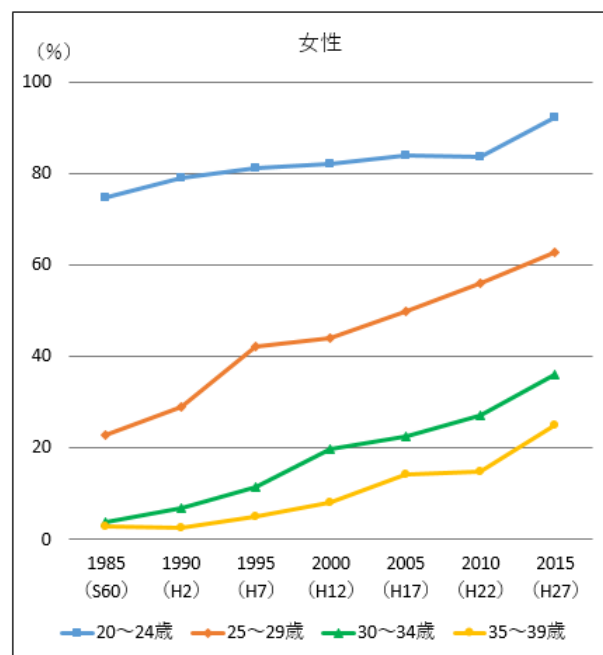
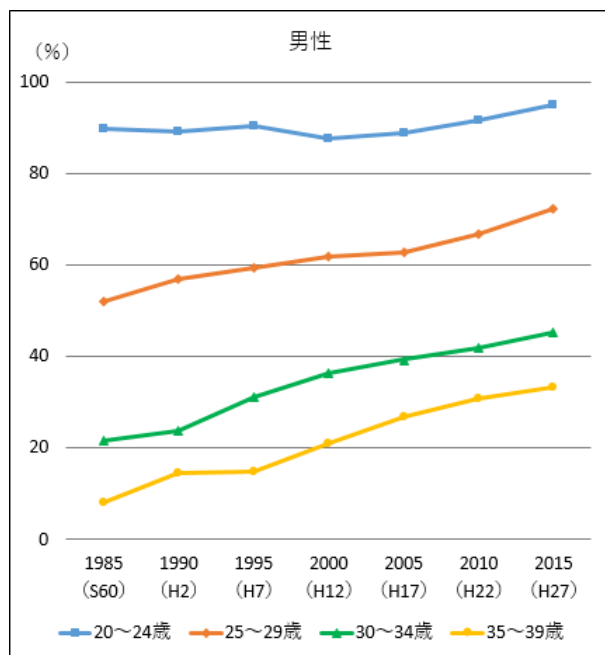
【図 3：年齢別の人口移動状況】

## (4) 合計特殊出生率の推移



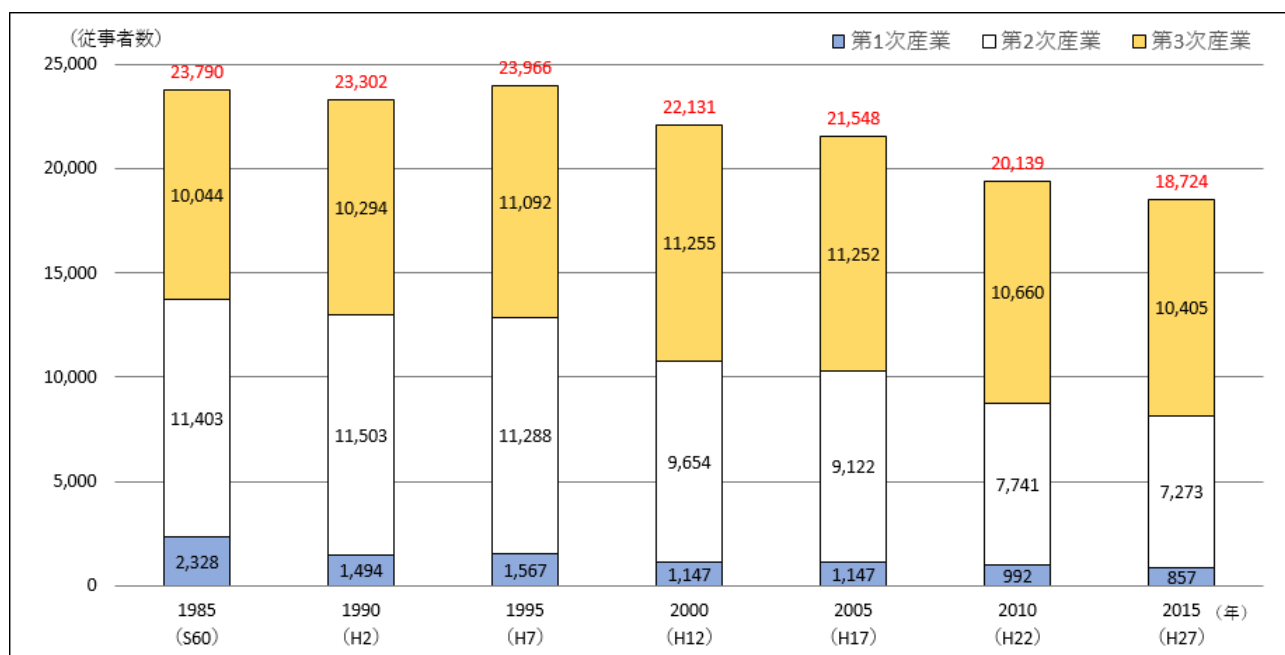
【図 4：合計特殊出生率】

## (5) 未婚率の推移



【図 4：年齢別の未婚率】

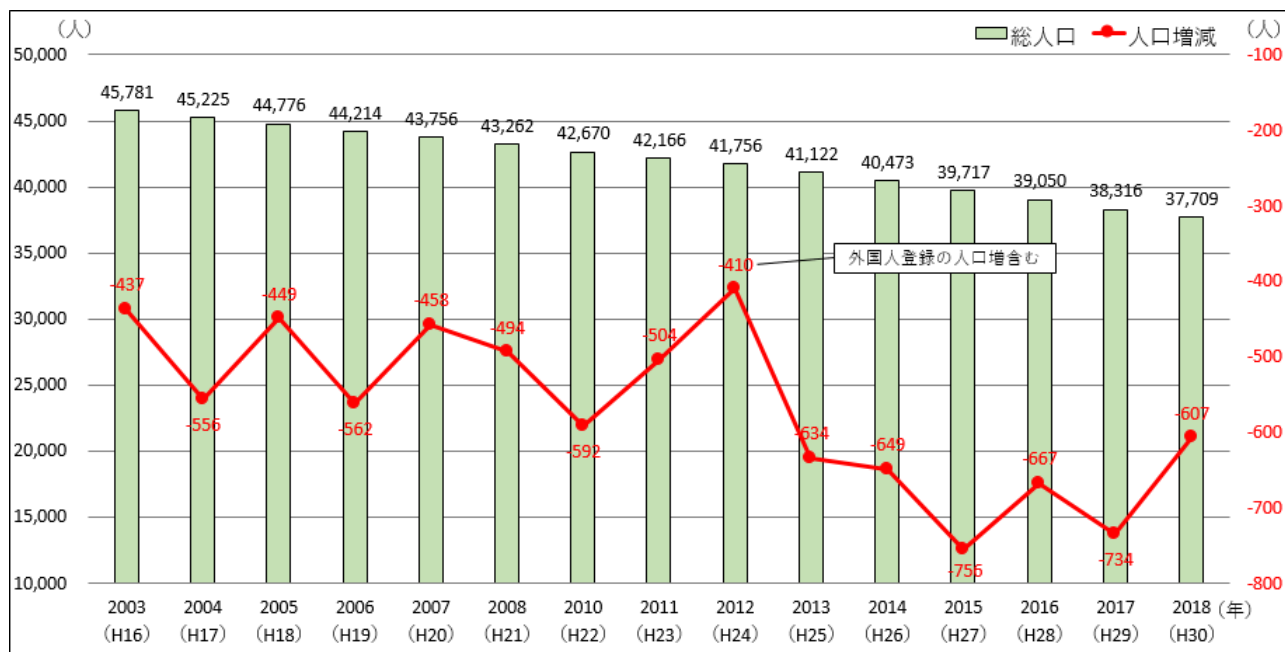
## (6) 従業者数の推移



【図 5：産業分類別従業者数】

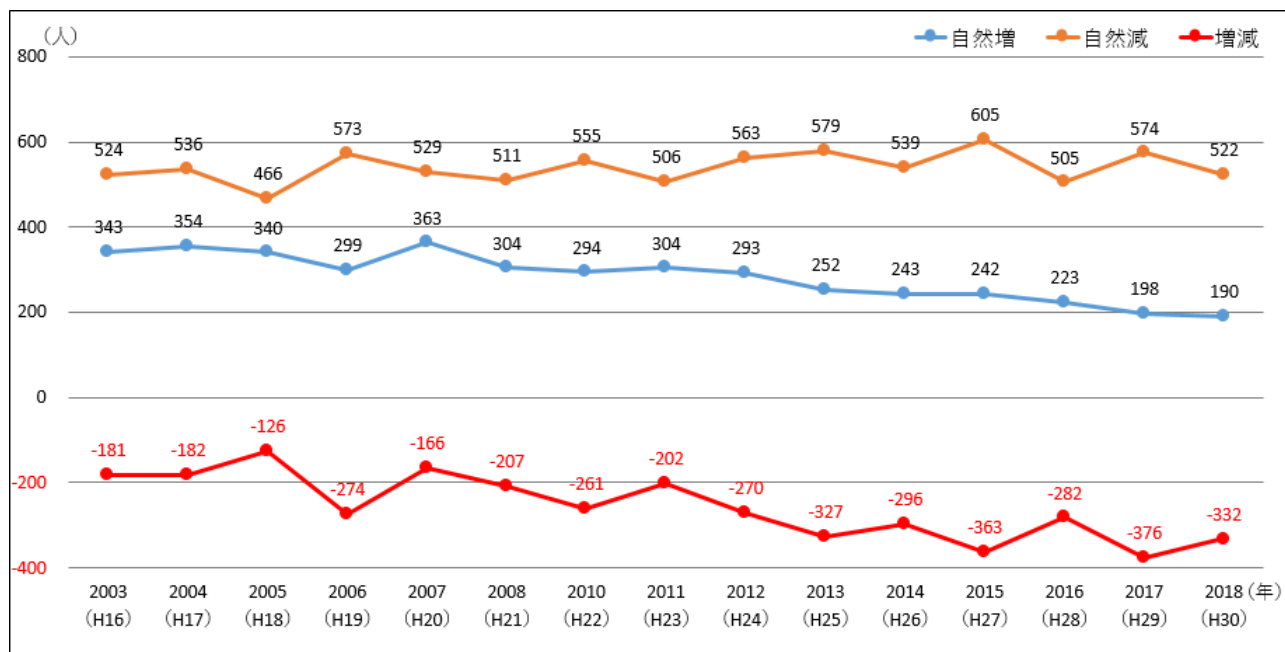
## 2 住民基本台帳

### (1) 総人口の推移



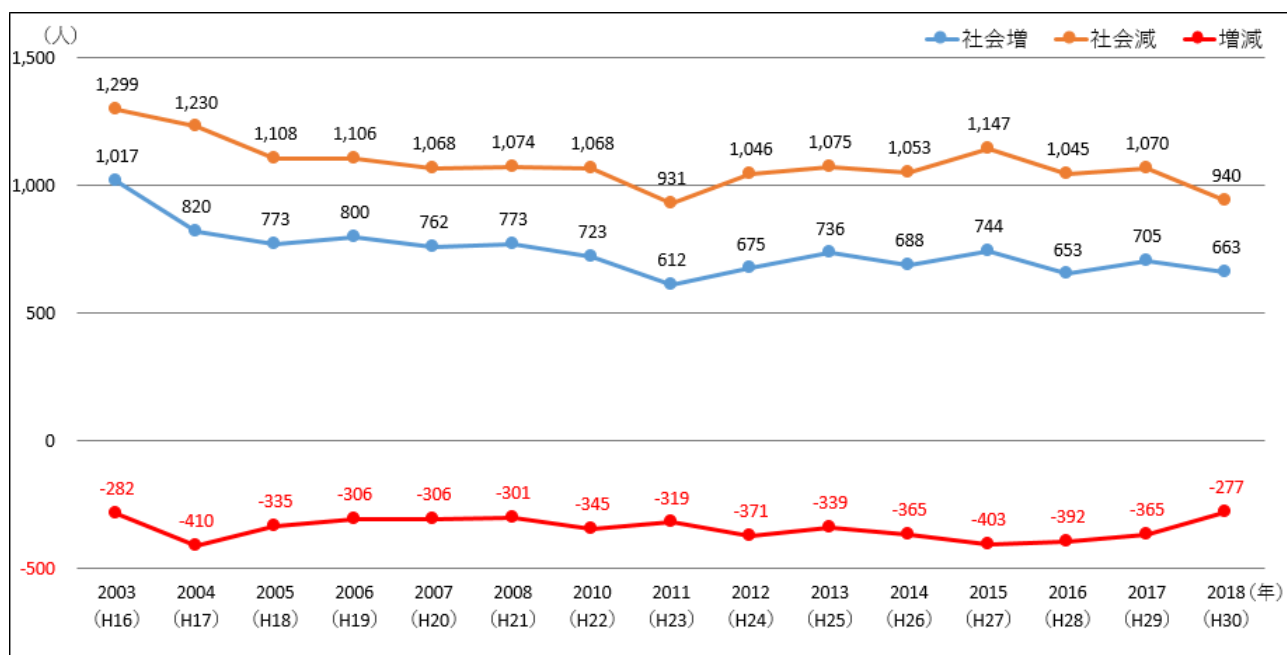
【図 6：総人口】

### (2) 自然増減の推移



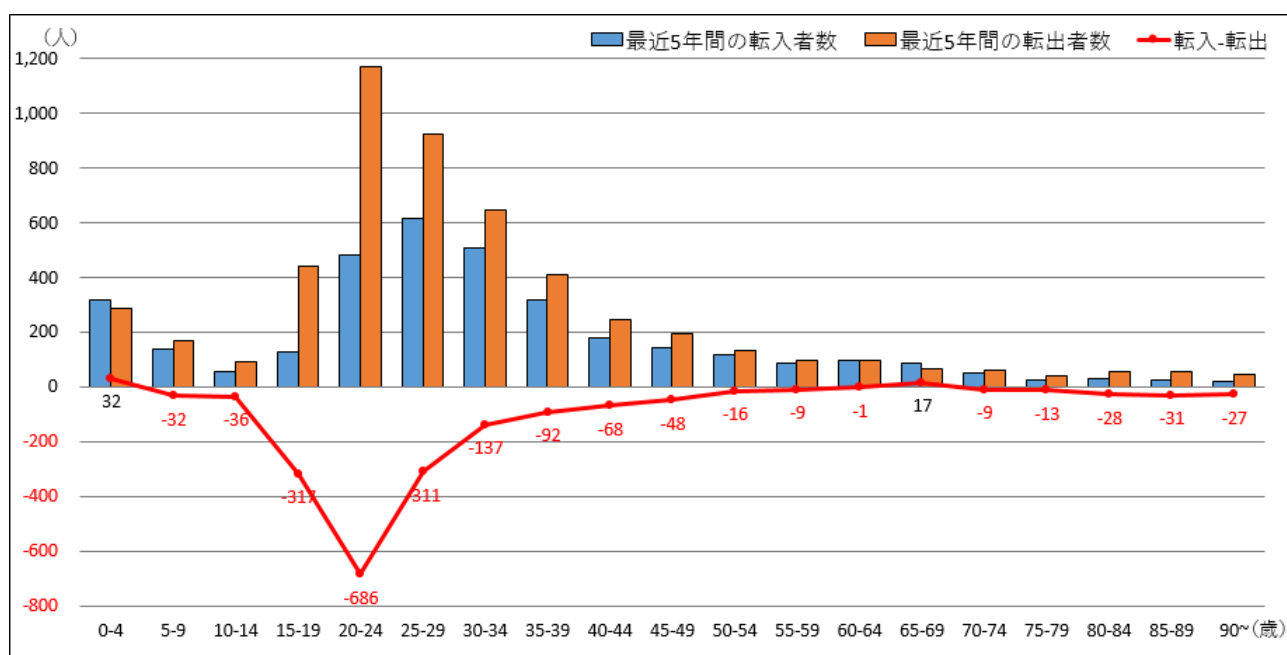
【図 7：自然増減】

### (3) 社会増減の推移



【図 8：社会増減】

### (4) 2014 (H26) 年度-2018 (H30) 年度の転入転出者数



【図 9：近年の転入転出者数】